

千曲市長 小川修一様

公開質問状

令和5年5月

千曲市の教育の機会均等を守る市民の会

代表 宇田川 弘子

拝啓 この度は、新聞で114年の歴史を持つ屋代南高校が無くなってしまったことを知りました。千曲市からはその経緯や今後どのようなようになるのかが全く知らされていません。

私たち市民は知る権利を持ち、小川市長は説明の義務があると思います。

教育は百年の計であり、千曲市にとって最重要課題ですので、市民が共有し一丸となって考えなければなりません。

以上の理由により、私たち市民団体が市民の皆様を代表して「なぜ、無くなってしまうのか」「今後どのようなようになるのか」「具体的にはどのような方針で進めるのか」基本的な事項についてお尋ねする公開質問状を出す決議をしました。

なお、6月20日までにご回答をください。また、本質問状は市民が最も知りたいことに絞りましたので回答は市報等で公開してください。

敬具

1. 市長は「文化伝承創造都市や人をはぐくむ」を公約にしましたが、114年の歴史を持つ屋代南高校の閉校される真逆な事態になりました。しかも校区で唯一の再編の犠牲になりましたが、どのような責任を感じておられるのかお尋ねします。
2. このような最大の問題について市民に対して一切情報公開をしません、なぜしないのか理由を聞かせてください。
3. 市民は新聞の断片的な情報しか知ることができませんから、最も重要な問題にもかかわらず、問題意識をもつことができません。その根本的な理由は「知らされていない」からであり、千曲市の将来にかかわる課題に対してこのような状況でよいのかお尋ねします。

4. 市民の力で振出しに戻り、起死回生のチャンスが到来しましたが、市長は「今後は任せてください」と表明し、市議会は「任せます」と新聞で報じられました。

今後市長は千曲市にどのような学校を誘致したい考えなのか、またどのような戦略で進めるのか説明してください。

5. 市長が「任せてください」と言われたことは、小川市政が責任を持ってすすめることだと理解しています。任意団体である「屋代南高校を発展させる会」は名実ともにその目的を失ったのですから、当然解散すべきだと思いますが、どのようにお考えですか

6. 責任を持つからには、今までのような無責任な任意団体ではなく、小川市政がビジョンを明確に持った新しい組織を作る必要があると思います。具体的には別紙で提案しましたのでご覧ください。市長はどのような組織で進めるのかおたずねします。

7. 今まで、小川市政は編成問題に対して故意に情報を公開しませんでした。事は教育問題ですから説明の義務があると思います。今後はどのような対応をされるのかお答えください。

万一、今まで通り公開しないとすれば、市民に納得のいく理由をお尋ねします。

以上